

宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第 55 号

## 企画展 江戸時代の百間本村～宿・川島・切戸

宮代町郷土資料館では平成 28 年 7 月 16 日（土）から 10 月 23 日（日）まで、企画展「江戸時代の百間本村～宿・川島・切戸」を開催しています。この「江戸時代の～」シリーズは東条原、須賀、百間中島村に続き、4 回目になります。宮代町に江戸時代の村は、12 か村ありましたので、3 分の 1 の村を取り上げることが出来ました。

百間本村は一般的には百間村と呼ばれ、百間村 3 組（百間本村、百間西原組、百間金谷原組）を代表する村で、埼玉郡の佐倉藩領の中心的な村でした。また、百間領と呼ばれる久喜市、白岡市、宮代町、さいたま市岩槻区、春日部市のそれぞれ一部が属した 27 か村の筆頭村でもありました。

ここでは百間村の歴史を説明します。百間村は、室町・戦国時代は古河公方足利氏や上杉氏の戦乱の地であったと推定されます。西原で発掘された戦国時代の遺跡（伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡）はこの頃使われた城郭（百間城）と考えられています。小田原北条氏が滅亡し徳川家康が関東に入国すると、家康は家臣の服部政季に百間郷 3000 石を与えました。政季は百間城を改築して百間陣屋を構築したと推定されます。



寛延 2～宝暦 3 年（1749～1753）百間村絵図



明治元～明治 4 年（1868～1871）佐倉藩印

百間陣屋は小字西原にありました。小字西原のほとんどが百間西原組ですが、陣屋の部分を中心に百間本村の飛び地があったようです。

百間村はその後、寛永元年（1624）に旗本朽木氏の領地となり、慶安2年（1649）からは天領（幕府直轄地）となりました。元禄8年（1695）には百間村から百間東村、百間中村、百間中島村が分離します。残された百間村は同年検地が行われ、元禄11年には一部（百間西原組、百間金谷原組）が岩槻藩領となりました。残った天領（百間本村）も元禄16年には久喜藩領となりました。こうして、百間本村は誕生しました。

百間本村の中心地は字山崎の宿地区です。名主を務めた松永源太左衛門や折原清次郎・清輔はいずれも宿地区出身です。宿地区は江戸時代前期には後宿、中期以降は源太宿と呼ばれました。現在は地区を宿と呼び、名主であった松永源太左衛門の屋敷周辺を源太山と呼びます。

前述したように百間本村は埼玉郡の佐倉藩領を代表する村でした。佐倉藩の役人が埼玉郡に来る時は先ず百間本村を目指しました。佐倉からは臼井、船橋、千住、越ヶ谷、粕壁を通り百間へ来ました。江戸からは藤八新田、大門、岩槻を通り百間に来たようです。

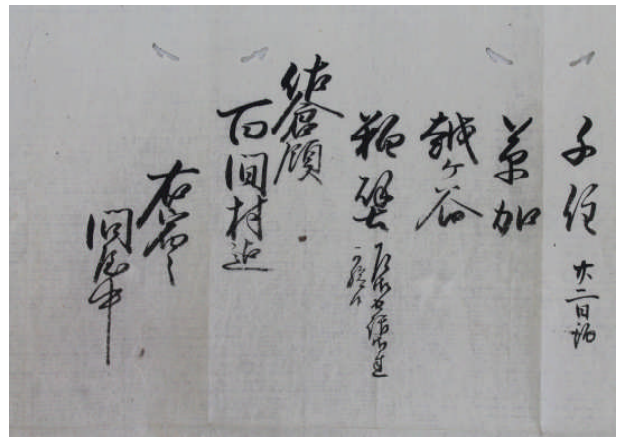
百間本村の名主折原家の母屋北側の離れは佐倉様（佐倉藩役人）専用の部屋であったという伝承も残っています。

百間本村は佐倉藩が出した通達の内容を他の埼玉郡の佐倉藩領の村々に伝える役割もありました。廻状（回覧板）は回り終わると百間本村に戻されました。そのため、百間本村のみ印が押されていません。名主を務めた折原家にはこのような廻状や先触、順達が多量に残っています。佐倉藩の役人の研究をする上でも非常に貴重な文書群といえましょう。

このように、百間本村は普通の村ではなく、佐倉藩領の埼玉郡の中心的な村で佐倉藩の役所とも密接な関係の村といえます。

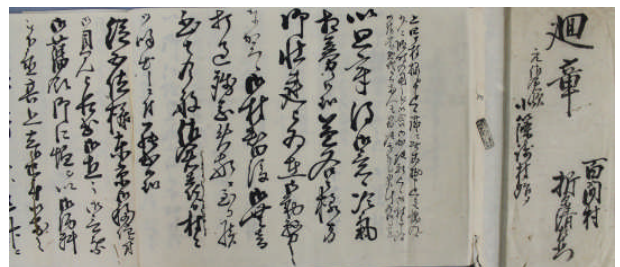
この他、宗門改帳や百間村絵図、神社仏閣、村役人の変遷、百間本村屋敷表などこの展示を見学すれば百間本村の事が全てわかる展示内容

となっています。この機会に是非、企画展「江戸時代の百間本村～宿・川島・切戸」をご覧ください。百間本村について、より一層知ってもらえればと思います。

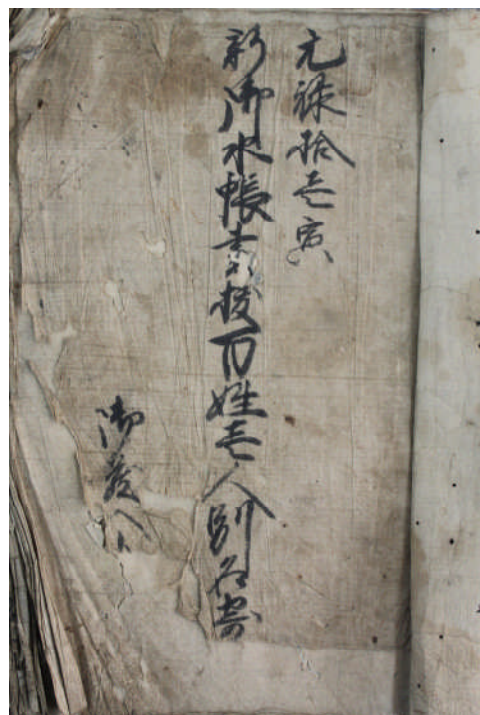


慶応3年（1867）先触

佐倉藩の役人が百間村に行くにあたり、各宿場に駕籠人足3人、馬4匹を調達させました。



明治4年（1871）廻状



元禄11年（1698）百間村名寄帳

開催  
しました

平成28年度第1回企画展

# 古文書に見る人々の暮らし1 遺された記録

平成28年5月14日(土)から7月10日(日)までの期間、平成28年度第1回企画展「古文書に見る人々の暮らし1 遺された記録」を開催しました。

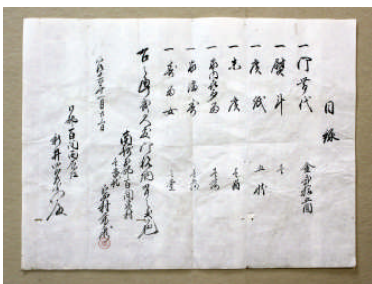
資料館には3万点を超える古文書が収蔵されています。多くは、江戸時代から明治時代の人々の暮らしの中で、折節の記録として遺されたものです。今回の企画展では、これらの数多くの古文書の中から、「年貢を納める」「人生儀礼」「人相書」幕末～明治教科書にある事件いろいろの4つのテーマを元に、関連した古文書を紹介しました。

「年貢を納める」では、その年の分として決定された年貢を村に通告するための「年貢割付」と、村がそれに基づき期限までに無事に納めたことを示す「年貢皆済目録」を紹介しました。今回展示した6点には「御伝馬宿入用・六尺給米・御蔵前入用」の3つの用語が見られるのですが、これらは天領(幕府の直轄地)に課せられた税であることから、いずれも天領であったことがわかります。



文化元年10月 年貢割付状 (新井家文書)

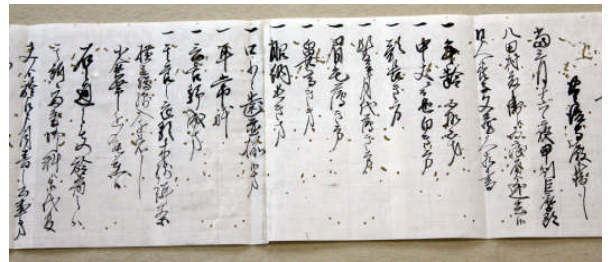
次のコーナーは「人生儀礼」です。人生儀礼とは、人が生まれてから亡くなるまでの長い年月の間に迎えるいくつかの節目がありますが、その時におこなわれるさまざまな儀式のことを示します。今回は、誕生(出産)・成長・結婚・葬送という4つの節目に遺された古文書を紹介します。いずれも、幸せな人生を送ることができるようにとの願いが込められたものです。



明治16年1月23日 結納目録 (新井家文書)

「人相書」とは、江戸時代に犯罪者を指名手配するための文書です。現在は、写真を中心とした手配が行われており、時には変装したり年を取ったりした時の様子などを予測した画像が付されていることもあり、非常に具体的でわかりやすい情報が示されています。しかし、パソコンも写真も無かった江戸時代には、指名手配は文書が中心でした。人相書には犯した犯罪の概要とともに、氏名・年齢・生れた国などのほか、容貌や背格好、逃亡時の着衣や所持品、髪や体型などの身体的な特徴などが文章で箇条書きに記されています。絵の上手下手もありますが、似顔絵が本当に本人に似ているかどうか判断できない以上、文章のほうがより確実だったのでしょう。

元治元年11月19日 御達書(久蔵 人相書)(岩崎家文書)



最後のコーナーは「幕末～明治 教科書にある事件いろいろ」です。歴史の教科書には、さまざまな事象が史実として紹介されています。それらは、古文書などを始めとするさまざまな史料の調査・研究を通して確認されたものです。1つの史料では読み解けないことも、いくつかの史料を検証していくことで明らかにされていくわけですが、そうした作業に使われた史料と同時代・同時期に作成された古文書が、いくつも宮代町に遺されています。

今回は、「文久3年8月18日の政変」「天狗党の乱」「薩摩藩邸焼き討ち事件」「神仏分離令」「大日本帝国憲法発布」といった、教科書に載せられた事件や史実に関係した古文書を展示することができました。

紙から電子的なものへと、記録や情報の残され方に大きな変化がある現在ですが、古文書に代表される「紙資料」の保存の重要性について、今一度注目していただきたい、そんな思いを込めた展示でもありました。

# 展示予告

# 平成 28 年度特別展 宮代町の指定文化財

宮代町には、平成 28 年 7 月末現在で 33 件の町指定文化財があります。その種類としては、建造物、古文書、工芸品、彫刻、考古資料、歴史資料、天然記念物といった有形のものから、獅子舞のように無形民俗文化財といわれるものまでさまざまです。一部の指定文化財は、郷土資料館の常設展示室に展示されていて、見ることができるともありません。しかし多くは、現地に行かなくては見られないものや、通常の公開が難しいものもあります。

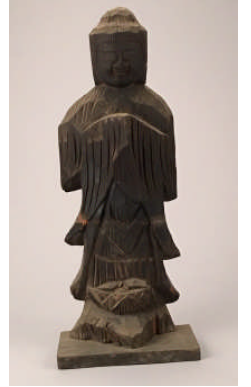


西光院 粟田口焼葵紋茶碗

こうした町指定文化財を一堂に会し、皆様にご覧いただける機会とするため、今年の 10 月 29 日（土）から

12 月 25 日（日）までの期間、特別展「宮代町の指定文化財」を開催する予定です。

会場には、西光院に伝わる「中世文書」や「朱印状」、あるいは真藏院の「円空仏（如来形立像）」など、多くの町指定文化財が展示されます。皆様のお越しをお待ちしています。



なお、期間中に県立歴史と真藏院 円空仏（如来形立像）民俗の博物館で開催されている特別展「徳川家康 語り継がれる天下人」において、西光院の「絹本着色徳川家康画像」が展示されます。（展示期間 10 月 15 日～11 月 27 日）合わせてご覧いただければ幸いです。

## 資料館日誌抄

- 3 月 12 日 企画展「身のまわりの生活史 10  
～ 5 月 8 日 ～器いろいろ～」
- 4 月 13 日 介護老人保健施設は一とびあ見学（9 名）
- 4 月 21 日 西光院遺跡試掘調査
- 4 月 21 日 個人撮影会（2 名）
- 4 月 26 日 宮代特別支援学校資料館見学（18 名）
- 5 月 10 日 さいたま市矢口氏史跡散策（13 名）
- 5 月 10 日 藤曾根遺跡試掘調査
- 5 月 14 日 企画展「古文書に見る人々の暮らし 1  
～ 7 月 10 日 ～遺された記録～」
- 5 月 19 日 地蔵院遺跡試掘調査
- 5 月 24 日 第 2 回みやしろ市民ガイド養成講座職員派遣  
（15 名）
- 6 月 1 日 宮代特別支援学校資料館見学（中学部）  
（10 名）
- 6 月 2 日 百間小学校 2 年生校外学習（10 名）
- 6 月 4 日 みやしろ市民ガイドクラブ資料館見学（8 名）
- 6 月 7 日 須賀中学校 2 年生 2 デイズチャレンジ（2 名）  
～ 8 日
- 6 月 12 日 彩の国南西ウォーキング協会ウォーキング  
（40 名）
- 6 月 14 日 川の会旧加藤家住宅見学（17 名）
- 6 月 15 日 平成 28 年度第 1 回文化財保護委員会
- 6 月 22 日 姫宮神社遺跡試掘調査  
～ 6 日

- 7 月 5 日 杉戸中学校 2 年生 2 デイズチャレンジ（5 名）  
～ 6 日
- 7 月 13 日 百間小学校 1 年生西原自然の森校外活動  
（74 名）
- 7 月 16 日 企画展「江戸時代の百間本村  
～ 10 月 23 日 ～宿・川島・切戸～」
- 7 月 23 日 土器づくり教室（15 名）

## 資料館寄贈者名簿（敬称略）

島村正次（史料）、新井勝美（史料）、赤石幸夫（史料）  
高橋定次郎（史料）、朱炳煌（史料）

宮代町郷土資料館だより えんがわ 55 号

発行日 平成 28 年 7 月 23 日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原 289 番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>